

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1 年	2	選択
担当教員			
佐藤 匠			
C (商学部)	L (基礎科目)	HC (人間と文化)	104 (基礎・入門科目)

授業のねらい（概要）	日本の文化は多様性に満ちています。それは歴史を通して移動・移住による地域間交流が活発に行われ、重層的に文化が形成されてきたからだとい私は考えます。 本講義では身近な食・温泉・地名・お祭りを取り上げて、歴史を通して育まれた豊かで多様な日本の文化を考察してゆきます。そして講義を通じて日常のありふれたものから歴史や文化を考えることのできるものの見方を養ってもらいたいと考えています。		
授業計画	第1回	【遠隔】 オリエンテーション、日本史の大きな流れ 予習（時間）：なし（0） 復習（時間）：中学校レベルの日本史の復習（60）	
	第2回	【遠隔】 「応仁の乱の西軍の大將はなぜ「山名」氏なのか」 鎌倉時代に関東の武士が西国へ移住したことについて 予習（時間）：鎌倉時代について確認する（60） 復習（時間）：ノート・レジユメの整理（60）	
	第3回	【遠隔】 「越前織田剣神社と尾張織田信長」 室町時代の守護被官が守護と共に地域を移ったこと及び寺社出身の武士たち 予習（時間）：室町時代について確認する（60） 復習（時間）：ノート・レジユメの整理（60）	
	第4回	【遠隔】 「戦国時代と「地域」の誕生」 英雄としての戦国大名を持つ地域とそうでない地域の比較 予習（時間）：戦国時代について確認する（60） 復習（時間）：ノート・レジユメの整理（60）	
	第5回	「日本発のグローバルヒストリー」 梅棹忠夫とその後継者たち 予習：グローバルヒストリーについて調べる（60） 復習：ノート・レジユメの整理（60）	
	第6回	「サムライ・ビューロクラシー」 前近代の、日本における官僚制について 予習：官僚制とはなにかについて調査（60） 復習：ノート・レジユメの整理（60）	
	第7回	「おせちのカズノコと昆布巻き」 「和食」の形成に果たした北海道の役割、あるいは日本海通運による文化の伝播 予習（時間）：北前船について調査する（180） 復習（時間）：ノート・レジユメの整理（60）	
	第8回	「上州と蝦夷地」 伊勢崎藩士新井雀里、大野ちか、富岡製糸場と北海道 予習（時間）：富岡製糸場について調査する（180） 復習（時間）：ノート・レジユメの整理（60）	
	第9回	「札幌になぜ「桑園」駅があるのか」 西郷隆盛と山形庄内と北海道の関係 予習（時間）：戊辰戦争について調査する（180） 復習（時間）：ノート・レジユメの整理（60）	
	第10回	「「仏教」とは何だったのか」 世界宗教の信仰以外の機能について 予習（時間）：修学旅行等で訪れた寺社について調査する（180） 復習（時間）：ノート・レジユメの整理（60）	
	第11回	「空海はいくつの温泉を発見したのか」 修験道と日本の文化 予習（時間）：群馬の温泉を一つ選び調査する（180） 復習（時間）：ノート・レジユメの整理（60）	
	第12回	【課題】 「ソバの発祥地はどこか」 禅宗の文化とその拡散 予習（時間）：禅宗について調査する（180） 復習（時間）：ノート・レジユメの整理（60）	
	第13回	【課題】 「日本各地の祇園祭」	

	都市の発展と神社の勧請 予習（時間）：出身地のお祭りについて調査する（180） 復習（時間）：課題作成（360） 【課題】 「海軍と肉じゃが、陸軍とカレーライス」 近代における巨大官庁の出現、あるいは画一的な文化の波 予習（時間）：家庭のカレーのレシピを調べる。（180） 復習（時間）：課題作成（360） 「料理番組と日本の食卓」 高度経済成長と標準的な食文化の成立 予習（時間）：料理番組を一つ視聴し、その感想をまとめる（180） 復習（時間）：課題作成（360）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	この科目では、D P（ディプロマポリシー）に記載されている「専門分野の学びを、実務や社会で応用できる能力」を修得することを目的としています。 歴史を学ぶことで、物事を水平だけではなく垂直に見ることができ、立体的にとらえることができるようになります。物事を立体的にとらえることは社会で大いに役立つと思います。 【身に付くスキル】 論理的思考力・生涯学習力
到達目標	①武士団の移動に伴う文化の伝播を説明できる。②北海道と内地及び沖縄との関係を説明できる。③寺社の信仰以外に歴史・文化に与えた影響を説明できる。④全国共通の文化がどう作られてきたのかを説明できる。⑤日常のありふれたものから多面的な価値を引き出すものの見方を身につける。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	講義は学生諸君が興味のもてるように抽象的な論理はなるべく少なくし、出来るだけ日本各地の具体的な事象を中心に展開する。
履修上の注意	高校日本史程度の知識を有していることが望ましい。 地名が出てくることが多いので、地図帳を用意していると便利だと思う。
成績評価の方法・基準	・学期末に行う定期試験「論述」（60%） ・授業内に指示した提出物（30%） ・学修意欲（10%）
教科書	
参考書・教材	『陰謀の日本中世史』 ISBN番号：978-4040821221 著者名：呉座勇一 出版社：KADOKAWA〈角川選書〉 発行年：2018年 価格：950円 『軍事の日本史 鎌倉・南北朝・室町・戦国時代のリアル』 ISBN番号：ISBN-13：978-4022737991 著者名：本郷和人 出版社：朝日新聞出版 発行年：2018年 価格：875円
備考	講義科目 第12回「ソバの発祥地はどこか」、第13回「日本各地の祇園祭」、第14回「海軍と肉じゃが、陸軍とカレーライス」は課題研究として学習する。 それぞれ教員が指示したテーマについて指示したやり方で作成したレポートを提出する。 第12回については、ネットワークを含む様々な資料を用いて、禅宗が日本にもたらした「文化」についてレポートしてもらう。 第13回については、学生諸君の出身地域で行われる祭りについて、記述された資料や、聞き込みによってレポートを作成してもらう。 第14回については、①家庭で食べているカレーライスのレシピ、②学生諸君が好きなカレーライスの様態、③カレーライスが国民食となった歴史について、3冊以上の文献にあたってレポートを作成してもらう。
教員との連絡方法	講義の前後の時間は講師控室で、その他の時間は事務局を通してメールなどで。